

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナル名 (フリガナ)
フリガナ) チュウオウダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ササキ ソウ
中央大学	経済学部	佐々木 創 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) ゴミヨハラシタインダナン	フリガナ) アイソ ヒロト	5	無
ゴミを減らしたいんだなん	相蘇 寛人		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

・指示棒

研究テーマ (発表タイトル)

ベトナム国ダナン市におけるゴミ袋有料化政策の導入

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

現在、ベトナム国ダナン市において、ダナン市唯一の処分場であるカンソン最終処分場の格納限界 (満杯) が近づいているという点や、ゴミの分別に関して意識はあるものの、実際に分別が行われていないという点が問題としてあがっている。この問題を解決するために、ゴミ袋有料化政策の導入を提案する。

導入の実現可能性を検討するために、国内での調査やヒアリングを事前に実施し、実際にベトナム国ダナン市において、ダナン市民約 400 人へアンケート調査の実施や、ゴミ回収業者や行政機関にヒアリングを行うことで、ダナン市に暮らす人々の生の声と廃棄物管理の実情に適合させる政策を考案した。

ダナン市のゴミ問題に着眼した背景として、ダナン市がゴミ処理フローの近代化を図っているからである。具体的には、JICA 事業では横浜市と IGES (地球環境戦略研究機関) が中心となって推進している「ヨコハマ G30/3R 夢 (スリム) の水平展開」というプロジェクトがあり、これによってゴミ処理技術の進んでいる横浜市の技術をダナン市が取り入れようとしている。このような背景の下、分別後のフローができたダナン市において、ゴミ問題を解決する具体的かつ実現可能な政策を提案する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在、ベトナム国ダナン市において、ゴミ問題は早急に解決しなくてはならない問題である。なぜならば、ダナン市では有害廃棄物を除いて、すべてのゴミがカンソン最終処分場へ埋め立てられているが、同処分場は 2020 年に格納限界（満杯）を迎えるからである。つまり、カンソン処分場が格納限界を迎えることは、現在のごみ処理フローが機能不全になることを意味する。

そのため、現在ダナン市では新たなゴミ処理フローを JICA（国際協力機構）と検討している。JICA 事業では横浜市と IGES（地球環境戦略研究機関）が中心となり、「ヨコハマ G30/3R 夢（スリム）の水平展開」というプロジェクトを推進中である。このプロジェクトは、横浜市の市内企業・団体がベトナム国ダナン市と技術提携を行うことによって、ダナン市の新たなゴミ処理フローの確立を目的としている。

3. 研究テーマの課題

研究概要の通り、最終処分場の格納限界、分別の問題が課題である。

最終処分場の問題としては、現在 IGES がプロジェクトを進めているが、持続的かつ根本的な減量政策は考えられていないのが現状である。

また分別の問題に関しては、以前にゴミ問題を解決するために DONRE（ダナン市天然資源環境局）はリサイクル促進を目的とした政策を打ち出した。同政策では有価物の分別に関して住民に喚起を行い、ゴミ処理を受託している URENCO（ダナン市都市環境公社）が実際に分別された有価物を回収するものである。この政策で、市民に分別の意識があることは分かったものの、2 種類の分別しか行っていないため、十分な分別政策とはいえない現状である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

以上の課題から、私たちはダナン市におけるゴミの排出量削減、分別による新たなごみ処理方法の促進を目的として、ゴミ袋有料化制度の導入を提案する。

具体的には、まず従来のゴミ管理料金を完全に撤廃し、ゴミ袋を別売り・有料で販売する。この際 URENCO には、指定してある有料ゴミ袋に入れられたゴミのみの回収を徹底させることで、ゴミ袋分の料金を安定的に収入源として計算することができるという狙いもある。

次に、廃棄物をごみ袋によって可燃物・有害性ゴミ・不燃物・リサイクル可能物の 4 品目で分別を行う。リサイクル可能物に関してはゴミ袋を無料で配布することで、リサイクル意識が向上し、効率的なリサイクルが可能であると考えている。また、それぞれのゴミ袋の表面に、それに対応するゴミのイラストを掲載する（可燃物の場合、生ごみ・紙等）ことによって、ダナン市民の分別の知識の向上も期待できる。今回、我々が提案する政策は、分別後のフローが確立されてからの導入が好ましい。そのため、この政策は、IGES が主体の「ヨコハマ G30/3R 夢（スリム）の水平展開」によって、横浜市のリサイクル技術が十分に伝わった 2020 年以降に導入すべき政策として想定している。

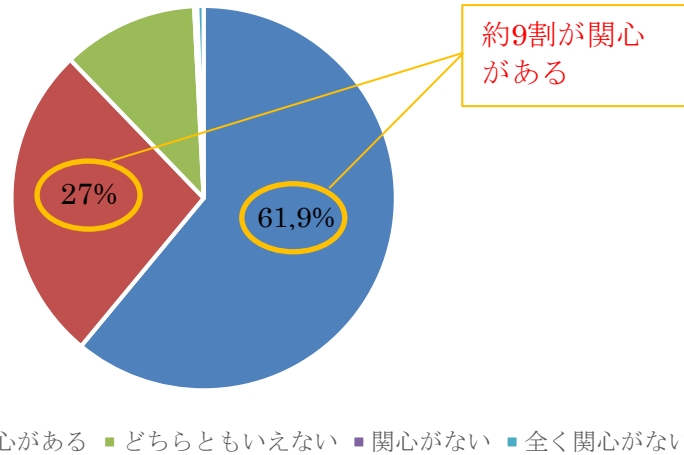
5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

国内調査として、平成 29 年 6 月 14 日に TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワーで行われた、「第 6 回ダナン都市フォーラム」に参加し、「ヨコハマ G30/3R 夢（スリム）の水平展開」の具体的な内容や現在の進行状況、ダナン市におけるゴミ問題に対する意識など調査した。中でも、横浜市の市内企業がどのような技術を保有・伝授しようとしているのか、また現在のダナン市の正確な現状などは、今回の提案の実現性を検討するために事前情報収集を行った。

次にゴミ袋の有料化政策の導入過程を調査するため、日本国内における有料化政策を実施している市のひとつとして、東京都東久留米市へのヒアリング調査を行った。東久留米市は今年から有料化を取り入れており、住民の意識調査や有料化することのメリット・デメリットが最新のものであるという点があげられる。ヒアリング内容としては、有料化を導入した経緯や、ゴミ袋の値段設定の方法などを主にヒアリングした。

その後、実際にベトナム国ダナン市へ行き、URENCO と DONRE へのヒアリングと、ダナン市民約 400 人に対してアンケート調査を行った。URENCO と DONRE へのヒアリング調査では、URENCO には管理料金の徴収率や未払いへの対策、DONRE にはカンソン最終処分場への対策やゴミ問題への優先度などをヒアリングした。また、市民アンケートに関しては属性を分けるために年齢や職業、所得などを質問したのちに、ゴミ問題への意識や知識を調査した。

ダナン市民のゴミ問題への意識



約9割が関心がある

■ とても関心がある ■ 関心がある ■ どちらともいえない ■ 関心がない ■ 全く関心がない

6. 結果や今後の取り組み

「第6回ダナン都市開発フォーラム」や東久留米市へのヒアリング、ダナン市民へのアンケートは大方我々が事前に予想した通りの結果が得ることができた。ダナン市のゴミ問題の現状や、有料化を取り入れた理由、ダナン市民のゴミ問題への意識などがそれに当てはまる。しかし、ダナン市でのヒアリングに関しては、事前に収集した情報と異なる点、最新情報を入手できた。そこで、今後はヒアリングにおいて得ることのできた情報を活用しつつ、今までの政策を多少修正して、より具体的かつ実現可能な政策を提案する予定である。

7. 参考文献

- ・第6回ダナン都市開発フォーラム 配布資料
- ・東京都東久留米市 HP
- ・環境省 一般廃棄物処理有料化の手引き http://www.env.go.jp/recycle/waste/tool_gwd3r/ps/ps.pdf(P21~22)
- ・株式会社 伸栄産業 一般廃棄物の収集運搬・処理 料金 http://www.shinei-industry.co.jp/price_all.html
- ・廃棄物処理有料化と分別回収の地域的影響を考慮した廃棄物減量効果に関する分析
file:///C:/Users/yutab/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/7QOUIDFB/11_1.pdf(p6~7)
- ・廃棄物の減量化と再資源化のための有料化政策 — 経済学的基础理論の構築と総合評価—
file:///C:/Users/yutab/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/RETQZSIC/7_445.pdf(p6~7)
- ・一般廃棄物分別収集に対する住民の協力意思形成と行動に関する研究
file:///C:/Users/yutab/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/DCPKBNZM/36_291.pdf
- ・地球環境戦略研究機関 (IGES) について <https://www.iges.or.jp/jp/about/index.html>
- ・ごみ有料化後にリバウンドは起こるのか？
file:///C:/Users/yutab/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/7QOUIDFB/Usui_REEPS_2011.pdf(p13)

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返信いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

できます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください